



獨協医科大学病院だより
Dokkyo Medical University

春号

令和6年(2024年)

No.55

Hospital News

栄養相談室
エックス線・CT検査
輸血部
手術部



採血
採尿
心電図
脳波
神経生理
肺機能
超音波センター
RI棟

OMRON

CONTENTS

診療科紹介

(救急・集中治療科、
救命救急センター、集中治療センター)

職員紹介

(フライトナース、クリティカルケア認定看護師、
特定行為看護師)

自律走行型搬送ロボットの導入

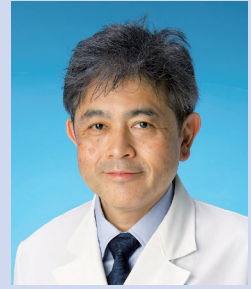
病院へのお手紙に関するご回答

診療部門紹介

県民および隣県の方々の健康、安心・安全のために日夜活動しています

救急・集中治療科、救命救急センター、集中治療センター

救急・集中治療科 診療部長／救命救急センター センター長 和氣 晃司



救命救急センター

県内5か所の三次救急医療機関のひとつとして、重症および複数の診療科領域にわたるすべての重篤な救急患者さんを24時間体制で受け入れております。救急外来に初期治療室を整備して心筋梗塞や脳梗塞、重症肺炎などの病気や不慮の事故などによる怪我、薬物やアルコール、農薬などによる急性中毒などの初期診療を行います。その後は救命救急センター病棟に収容して引き続き全身管理を行っております。

コロナ禍にあっては、センターの一部を改装して県内3か所の「重点医療機関」のひとつとして重症化した新型コロナウイルス感染症患者の集中治療にも対応してきました。



初期治療室

栃木県ドクターヘリ

2010年から栃木県ドクターヘリの基地病院としても活動しており、県内12か所の消防本部や茨城県・群馬県の一部消防本部からの要請で出動し、「現場」から医療の提供を開始して当院も含めた適切な医療機関へ搬送して診療を継続していきます。2024年3月31日時点における運航開始からの要請/出動の延べ件数は11,318/9,676件となっております。

また2011年からは群馬県、茨城県と「北関東広域連携」協定を締結しています。状況により隣県のドクターヘリと共に相互運用しています。

集中治療センター

Intensive Care Unit (ICU) ともいわれる部署です。日々行われている手術のうち、心臓・大血管の病気や消化器がんなどで大きな手術となる症例、臓器移植手術などの術後の全身管理を行っております。もちろん、急性発症の病気などに対する緊急手術の術後管理に

も対応しています。さらに、容態急変事例や病状悪化に伴い一般病棟では治療が難しくなった症例などの受け入れも行い、さまざまな医療機器やモニターを装着しながら薬剤投与を行い、24時間体制で集中治療管理体制を提供しております。

災害医療体制の構築

当院は災害拠点病院として県から指定を受けており、災害時に可及的速やかに傷病者の受け入れを行って診療します。そして必要に応じてさまざまな災害派遣医療チームを現地に派遣する場合があります。Disaster Medical Assistance Team (DMAT) もそのうちのひとつであり、厚生労働省から与えられる医療免許を取得したメンバーです。当院での最初のDMAT派遣は東日本大震災における県内病院支援及び仙台市の病院支援業務でした。その後、熊本地震や那須雪崩事故、令和元年台風15号による千葉県豪雨災害、令和元年東日本台風、COVID-19パンデミックにおいてDMATとして対応してきました。今般の令和6年能登半島地震においても、奥能登の珠洲市で総合病院の支援や一時福祉避難所施設開設、高齢者施設からの入居者避難対応などに関わってきました。

平時には県と共同してDMATの育成や訓練などにも携わっております。

救命救急センター、集中治療センターとも、ほかの医療機関で対応が困難となった症例の受け入れも行っており、上記のような診療を提供しております。これからも栃木県および近隣県の県民皆さまが安心して暮らしていけるよう、24時間365日体制で救急医療・集中治療体制の提供に努めてまいります。



珠洲市保健医療福祉調整本部会議 (中央: 和氣)

職員紹介

フライトナース、クリティカルケア認定看護師、 特定行為看護師

救命ICU病棟 中田 哲也



私は集中治療室を経て、2008年救命救急病棟の開棟にあわせて救命救急病棟へ異動となり、現在は救命ICU病棟で主任看護師として勤務をしています。¹⁾

救命ICU病棟は、緊急入院となった重症患者の意識・呼吸・循環を含む全身状態の管理を目的とした病棟です。新型コロナウイルス感染症の拡大の時は、重症化している新型コロナウイルス感染症患者の専用病棟としての役割も担っていました。

私の主な活動は、フライトナース、クリティカルケア認定看護師、看護師特定行為研修修了者(以下、特定行為看護師)の3つの役割をもって活動しています。

栃木県ドクターヘリは、2010年1月20日から当院を基地病院として運航開始となりました。ドクターヘリの出動により、医師による速やかな治療の開始や医療機関への迅速な搬送が可能となり、救急車に比べ患者さんの死亡率を40%減らす効果があると推計されています。フライトナースとして、フライトドクターと共働して薬剤投与、気管挿管、胸腔ドレーンの挿入などを行います。運航開始当初は、5名のフライトナースで活動していましたが、これまでに15名のフライトナースを育成し、現在は12名のフライトナースが活動しています。私は、運航開始準備からドクターヘリ事業に携わり、13年間で1007件のフライトを経験してきました。

クリティカルケア認定看護師は、特定の看護分野における熟練した看護技術及び知識を用いて、あらゆる場で看護を必要とする対象に水準の高い看護実践のできる看護師であり、看護ケアの広がりや質の向上を図ることを目的としています。私は、2015年から救急看護分野の認定看護師として活動を開始しました。主な活動は、院内急変対応システム(以下、RRS)のメンバーとして、病棟看護師が気になる患者さんの相談にのったり、急変リスクのある患者さんのスクリーニングとラウンドの実施を行っています。RRS活動では、救命救急医師に助言を求め、集中治療室への入室相談を行うこともあります。また、看護師教育の活動とし

て、院内や院外で看護師や看護学生に対して災害看護やフィジカルアセスメントなどの講義も行なっています。

特定行為看護師は、2015年に厚生労働省が施行した「特定行為に係る看護師の研修制度」によって定められ、特定行為を行うために必要な研修を修了した看護師のことをいいます。私は、2021年から特定行為看護師として活動をしています。私が実施できる主な行為は、気管チューブの位置の調整、人工呼吸療法に係る設定や鎮静薬の調整、直接動脈穿刺法による採血、循環動態に係る薬剤投与量の調整があります。特に直接動脈穿刺法による採血は、他病棟からの実施要請も多く、病院内で横断的に実施できる行為となっています。

私は、これらの活動を通して、重症化のリスクのある患者さんや危機的な状況にある患者さん・家族が、安全で安楽な入院生活を送れるように努めていきたいと考えています。またそのようなケアができる看護師の育成をしていきたいと考えています。



当院のフライトナース(前列左から2番目：中田)

1) 令和6年4月から、救命ICU病棟師長として勤務

自律走行型搬送ロボット「ドッポー1号」が 検体搬送にて活躍中です

4月1日付で、自律走行型搬送ロボット「ドッポー1号」が麻生病院長から辞令交付を受け、当院の職員として採用されました。病院のスマート化構想の一環として「ドッポー1号」が、患者さんから採血した検体1日約600名分(約2,000本)を輸血部を經由して片道約90メートル離れた臨床検査センター検体検査エリア間を安全に効率良く検体搬送を行っています。

本ロボットは、採血後の検体搬送を主目的としており、人の動きやベッド、車いす等に対する回避能力に優れ、安全性が高く、またICカードを利用した後方タッチパネル・扉施錠が可能であり、セキュリティも高いことから、今後幅広い領域での活用が考えられます。

近い将来、院内で複数の「ドッポー」が活躍することを期待します。



病院に加わった新たな仲間を歓迎して、麻生病院長が「ドッポー1号」に辞令交付

～病院へのお手紙に関するご回答～

外来エリアにあるトイレのごみ箱が、使用済のペーパータオルですぐに一杯になっています。

(回答) 外来エリアのごみ箱を大きい物へ入れ替えました。
貴重なご意見をありがとうございました。

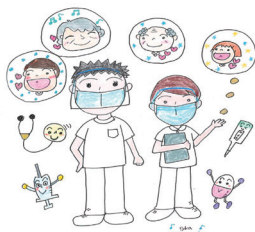
病院周囲の歩道や駐車場で喫煙している人を見かけます。
その姿を見ると嫌な気がします。

(回答) 当院では、駐車場(駐車中のお車の中を含む)、通路を含め、病院敷地内を全面禁煙(加熱式たばこ、電子たばこ等含む)としております。
職員による定期的な巡回も実施しており、引き続き禁煙対策を徹底してまいります。
また、周辺道路におきましても、通行人や近隣住民の方々のご迷惑になりますので、禁煙にご協力ください。

看護師・薬剤師募集

当院では、看護師・薬剤師を募集しております。

採用試験等については、ホームページ採用情報の職員募集サイトをご覧ください。



〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880

獨協医科大学病院 庶務課職員係

電話 0282-87-2038 E-mail shokuin-b@dokkyomed.ac.jp

(受付時間:月～土 8:30～17:00)＊休日除く

当広報誌は
当院ホームページより
ご覧いただけます。



獨協医科大学病院

検索

<https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/>



病院機能評価認定

Japan Council for Quality Healthcare